

## 近畿厚生局管内の確定給付企業年金の状況

この統計は、近畿厚生局管内で登録されている確定給付企業年金制度について、作成基準日（令和 5 (2023) 年 10 月 1 日）までに提出された令和 5 (2023) 年 3 月末までを決算日とする決算報告書及び事業報告書（以下「決算報告書等」という。2,299 件）に基づいて、作成したものである。

### 1. 府県別、種類別の確定給付企業年金の状況

図表 1、2 の制度数は、作成基準日において現存する有効な制度数を計上しており、加入者人数、資産額、平均予定利率については、決算報告書等に基づき作成している。

#### (1) 概況

制度数は 2,322 件（基金型 124 件、規約型 2,198 件）、前回（令和 4 年 10 月 1 日現在）に比べ 35 件減となり、加入者数 1,421 千人（33 千人減）、資産額 100,118 億円（3,667 億円減）、平均予定利率 2.02%（0.02%低下）であった。

図表 1 府県別、種類別の制度数などの状況

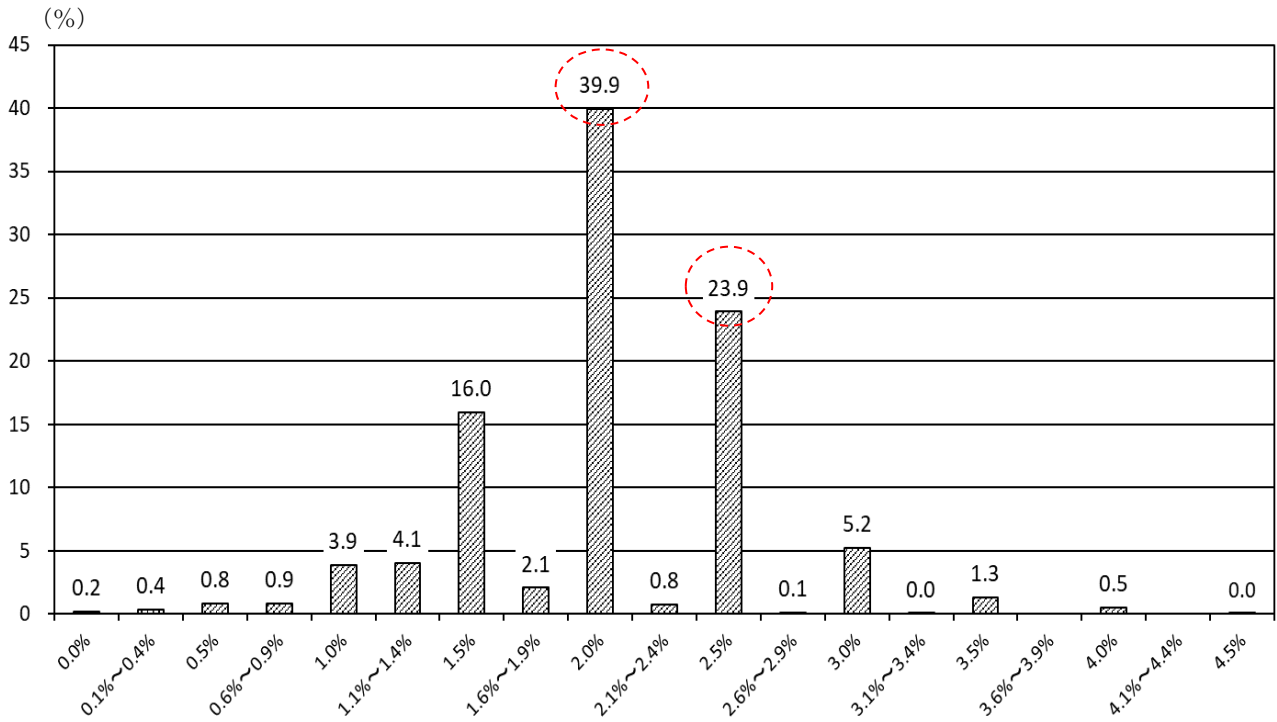
	合計	基金型	規約型計	種類別						
				一般	簡易基準	閉鎖型	受託保証	閉鎖型	開放型	
制	合計	2,322	124	2,198	1,389	703	21	85	46	39
度	福井県	74	2	72	26	36	1	9	0	9
	滋賀県	89	3	86	50	31	0	5	0	5
	京都府	203	14	189	115	65	0	9	6	3
	大阪府	1,419	80	1,339	894	391	14	40	26	14
	兵庫県	427	20	407	244	142	5	16	11	5
	奈良県	44	2	42	27	10	1	4	1	3
	和歌山県	66	3	63	33	28	0	2	2	0
	数	受託別								
信託等		910	105	805	763	25	17	—	—	—
	生保等	1,412	19	1,393	626	678	4	85	46	39
	加入者数(人)	1,420,696	627,418	793,278	693,353	62,084	—	—	—	—
	資産額(億円)	100,118	46,516	53,546	50,791	1,257	1,487	48	24	23
	平均予定利率	2.02%	2.17%	2.01%	2.00%	2.01%	2.24%	—	—	—

注 1) 受託別は総幹事会社の区分別であり、信託等は信託銀行と指定法人の合計、生保等は、生命保険会社と全共連の合計である。  
2) 閉鎖型は、加入者のいない制度である。

## (2) 予定利率の分布

予定利率は2.0%と2.5%で大半を占め、4.0%以上が0.6%（13件）であり、0.5%以下が1.4%（30件）であった。

図表2 予定利率の分布（予定利率別の制度数／制度数合計の割合）



## 2. 令和4(2022)年度の決算状況（令和4(2022)年4月末～令和5(2023)年3月末決算分）

### (1) 概況

制度数は2,299件（基金型124件、規約型2,175件）、平均加入者数は629人、平均資産額は4,349百万円、単純平均利回り（運用実績）は-1.03%であった。

図表3-1 令和4(2022)年4月末から令和5(2023)年3月末決算の概況

	合計	基金型	規約型計	運用実績					
				一般	簡易基準	閉鎖型	受託保証	閉鎖型	開放型
制度数	2,299	124	2,175	1,371	702	21	81	43	38
平均加入者数	629	5,060	364	504	88	—	—	—	—
平均資産額(百万円)	4,349	37,513	2,458	3,696	179	7,080	59	57	61
平均予定利率	2.02%	2.17%	2.01%	2.00%	2.01%	2.24%			
単純平均利回り(実績)	-1.03%	-0.78%	-1.05%	-1.73%	0.30%	-1.45%			
加重平均利回り(実績)	-1.15%	-0.67%	-1.57%	-1.62%	0.06%	-1.20%			
積立水準1	1.263	1.293	1.261	1.208	1.163	7.991	責任準備金に対する積立水準		
積立水準2	1.794	1.256	1.826	1.537	2.214	7.697	最低積立基準額に対する積立水準		

注1)加重平均利回りは、資産額による加重平均である。

2)責任準備金は、数理債務から特別掛金収入現価を控除した額(旧基準の責任準備金)である。

図表3-2 過去3年の決算状況の推移

	R2.4末～ R3.3末	R3.4末～ R4.3末	R4.4末～ R5.3末
制度数	2,379	2,334	2,299
平均加入者数(人)	639	634	629
加入者数(千人)	1,521	1,479	1,446
平均資産額(百万円)	4,391	4,446	4,349
資産額(億円)注3)	104,470	103,770	99,990
平均予定利率	2.07%	2.04%	2.02%
単純平均利回り(実績)	2.64%	4.46%	-1.03%
加重平均利回り(実績)	7.39%	4.12%	-1.15%
積立水準1	1.265	2.099	1.263
積立水準2	1.834	2.638	1.794

注1)加重平均利回りは、資産額による加重平均である。

2)責任準備金は、数理債務から特別掛金収入現価を控除した額(旧基準の責任準備金)である。

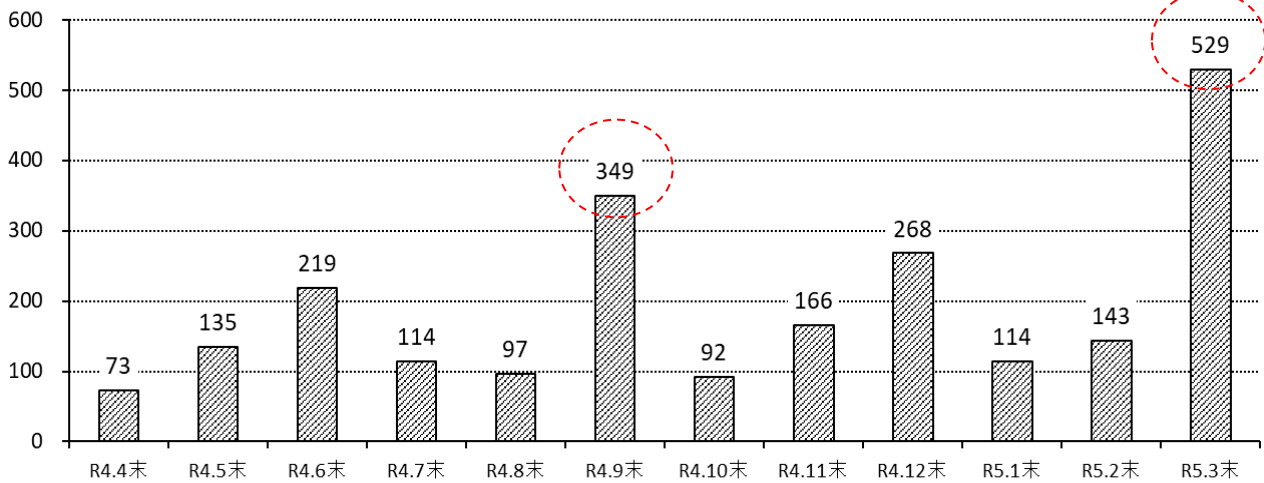
3)資産額は、十億円での四捨五入で端数を整理している。

(2) 決算月別の状況

決算の月別では、9月末決算（15.2%）と3月末決算（23.0%）が多くなっている。

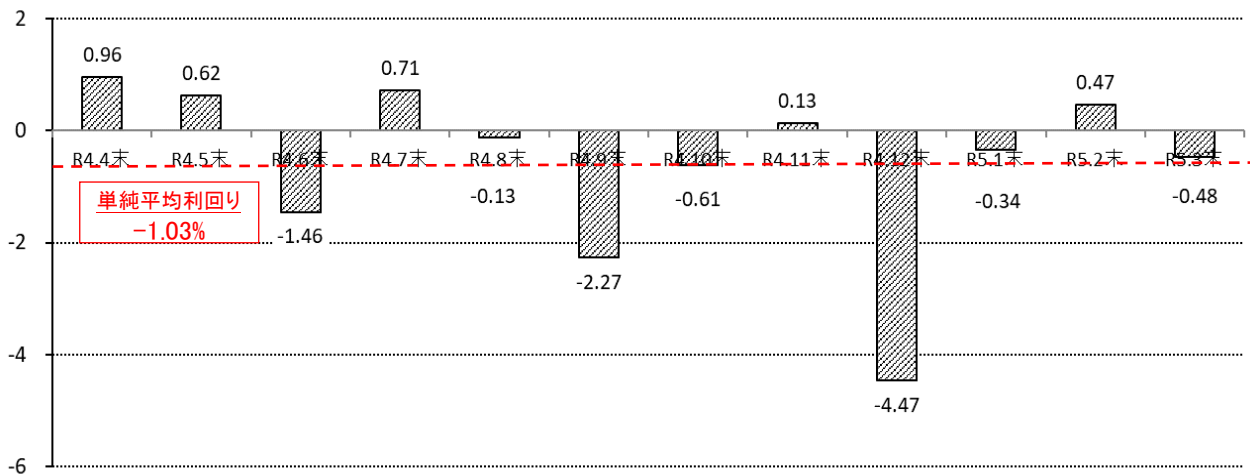
図表4-1 決算月別の制度数（合計 2,299 件）

(件)



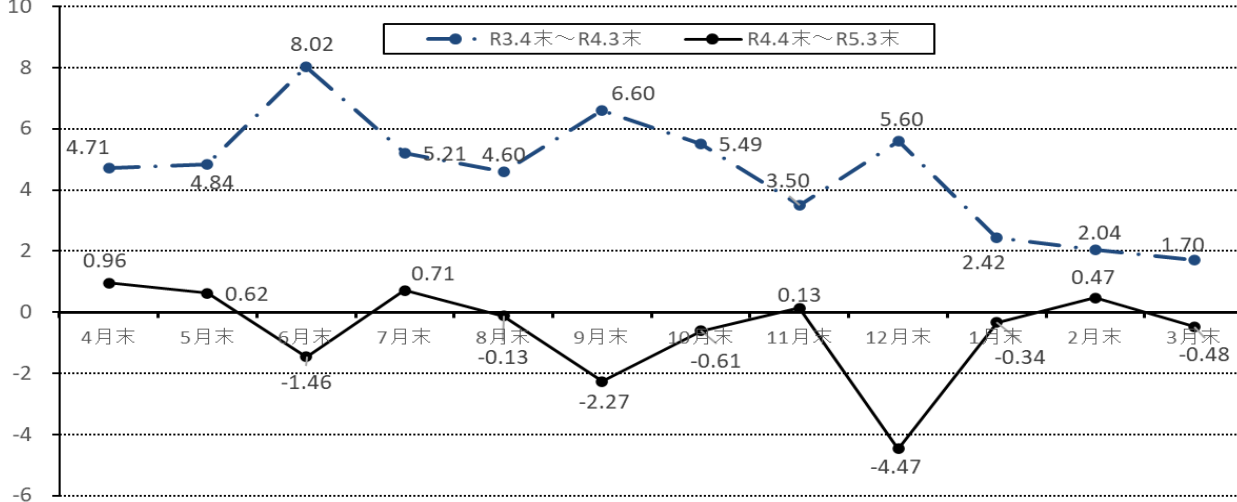
図表4-2 決算月別の運用実績利回り

(%)



図表4-3 過去2年の決算月別の運用実績利回り

(%)

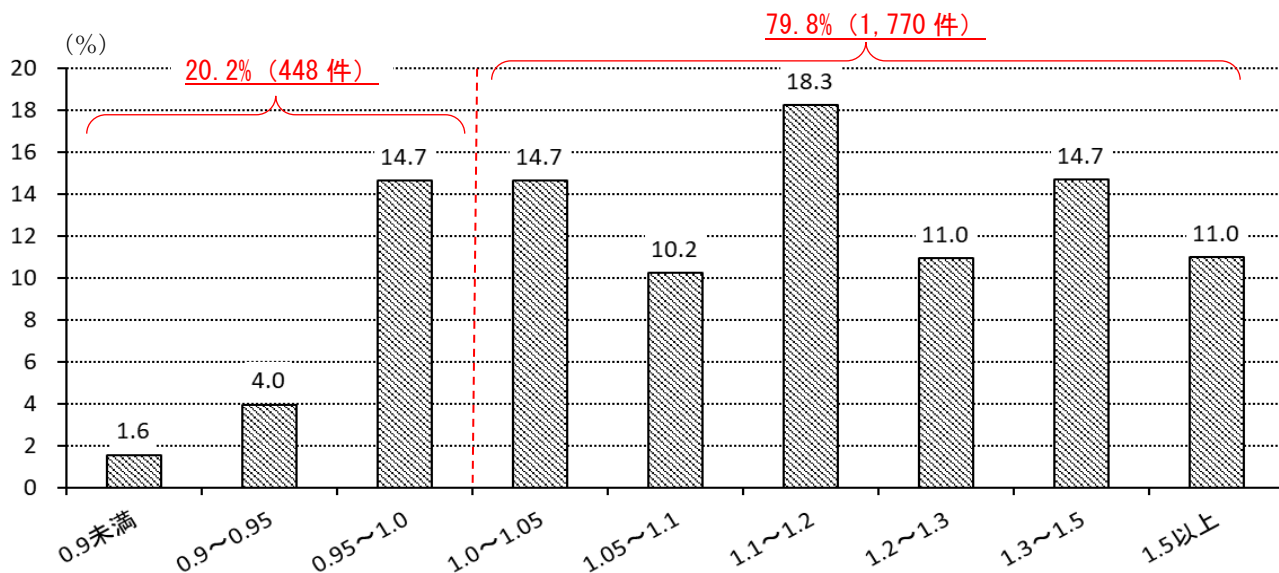


### (3) 積立水準の状況（受託保証を除く）

図表5、6は、純資産額の責任準備金(数理債務から特別掛金収入現価を控除した額)及び最低積立基準額に対する積立水準の分布をまとめたものである。

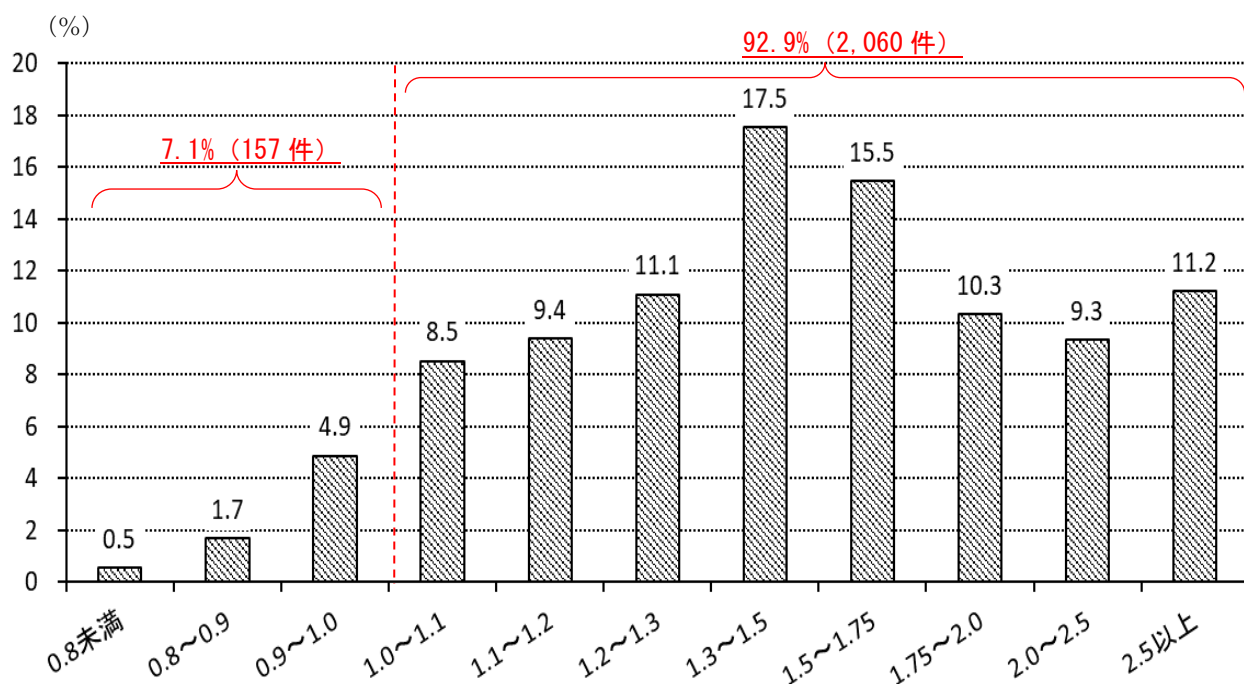
図表5 責任準備金に対する積立水準の分布（積立水準別の制度数／制度数合計の割合）

責任準備金に対する積立水準が1.0以上の制度は79.8%（1,770件）であり、1.0未満の制度は20.2%（448件）であった。



図表6 最低積立基準額に対する積立水準の分布（積立水準別の制度数／制度数合計の割合）

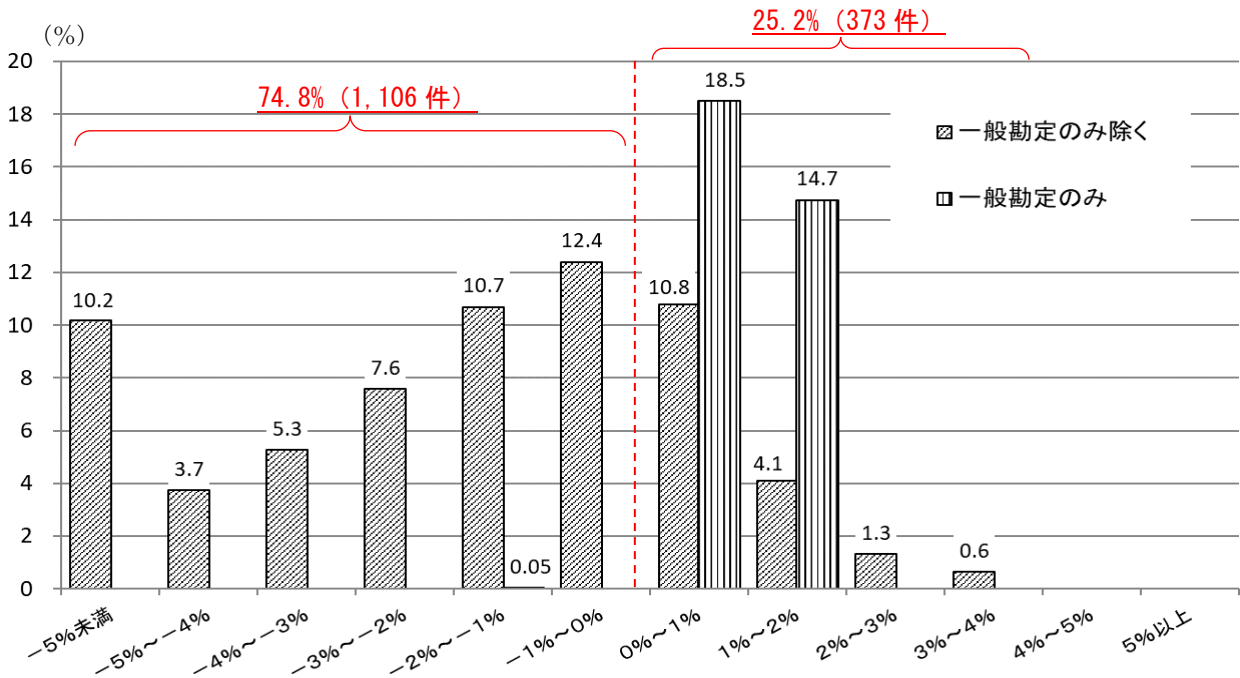
最低積立基準額に対する積立水準が1.0以上の制度は92.9%（2,060件）であり、1.0未満の制度は7.1%（157件）であった。



(4) 資産運用の状況（受託保証を除く）

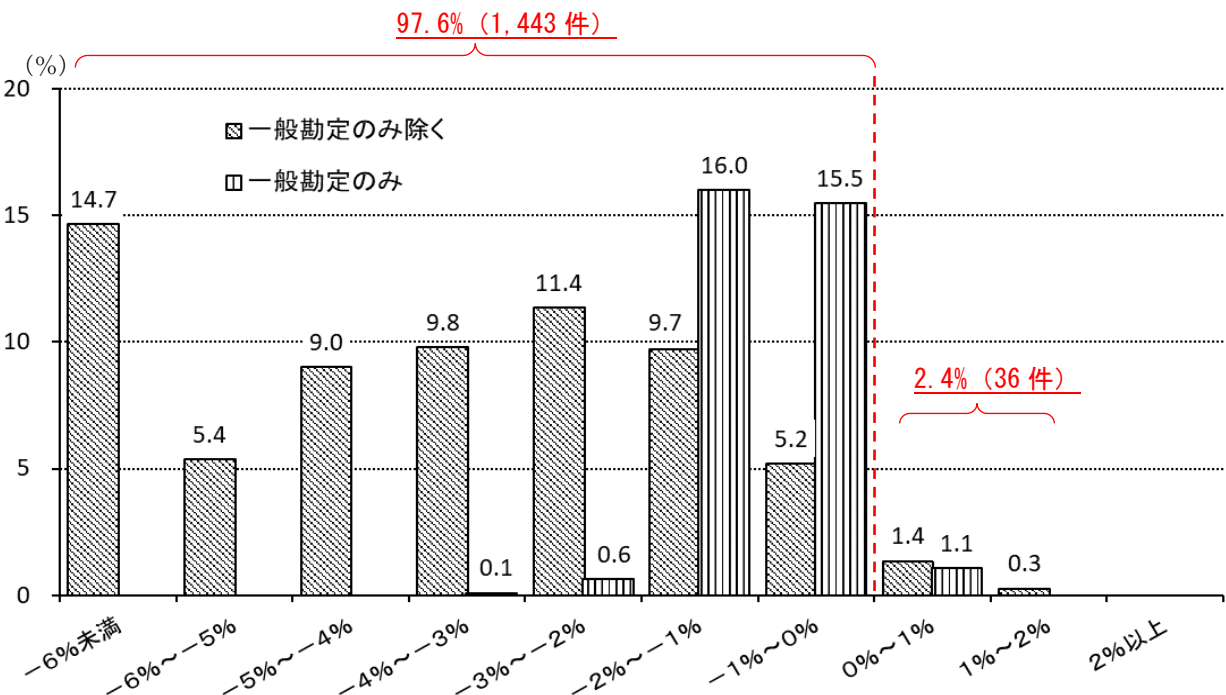
図表7 運用実績の分布（運用実績別の制度数／制度数合計の割合）

運用実績については、制度ごとに決算日が異なることから単に比較することはできないが、運用実績が0.0%以上となった制度は一般勘定を除く全体の25.2%（373件）であり、一方、0.0%未満となった制度は一般勘定を除く全体の74.8%（1,106件）であった。



図表8 実績の運用利回りと予定利率の差の分布（運用実績－予定利率＝差）

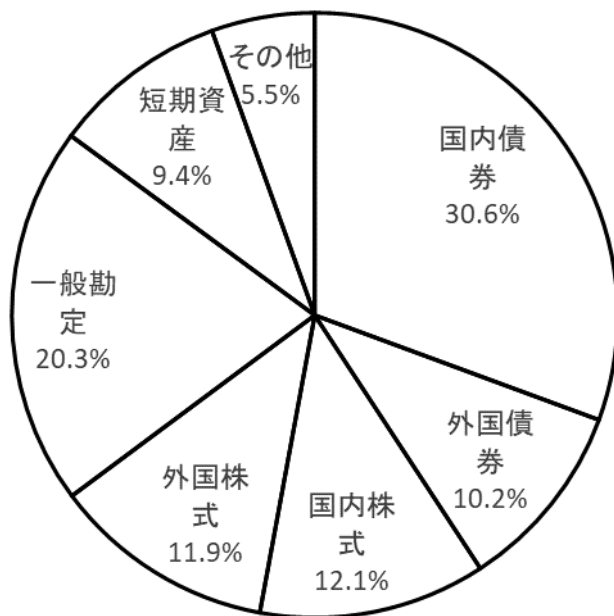
運用実績が予定利率を下回った制度は一般勘定を除く全体の97.6%（1,443件）であり、上回った制度は一般勘定を除く全体の2.4%（36件）であった。



(5) 資産構成等の状況（一般勘定のみで運用している制度を除く）

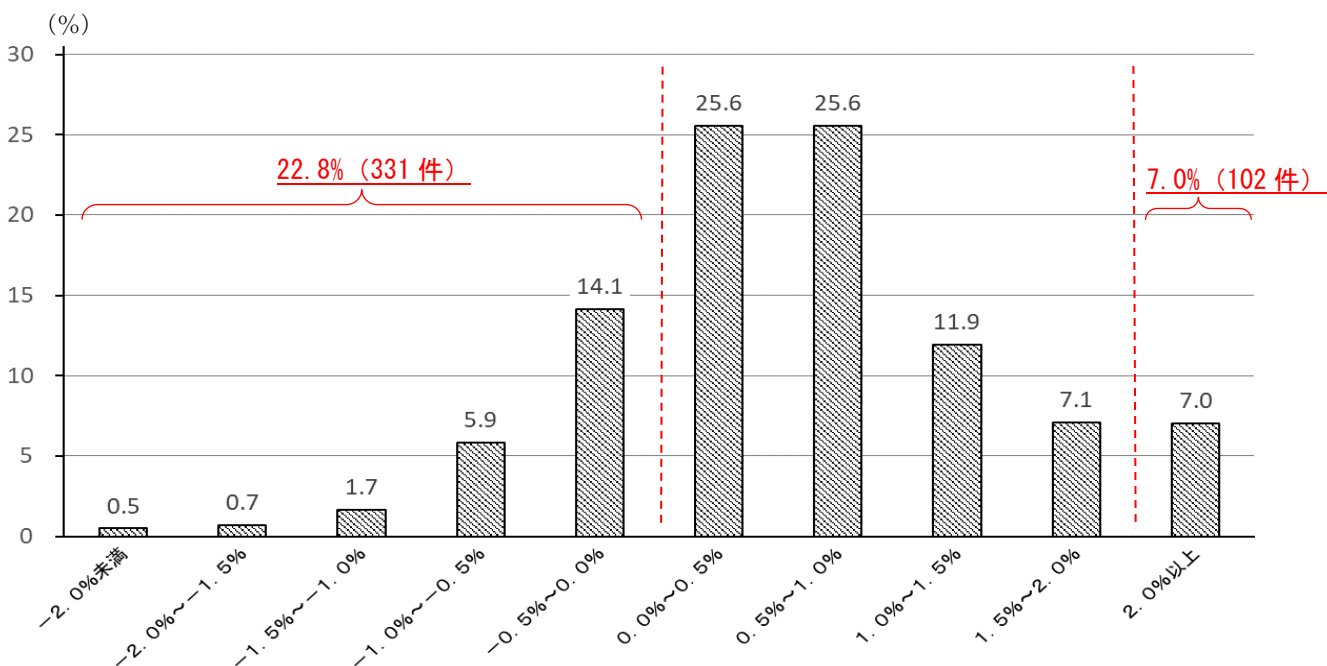
図表9の運用実績の資産構成割合は、決算報告書等の事業年度末日における資産の時価総額に基づく、資産構成割合をまとめたものである。

図表9 運用実績の資産構成割合（平均値）



図表10 政策的資産構成割合に基づく長期的な期待収益率と予定利率の差の分布  
（期待収益率－予定利率＝差）

政策的資産構成割合に基づく長期的な期待収益率が予定利率を下回る（0.0%未満）制度は22.8%（331件）であり、一方、予定利率を2.0%以上上回る制度は7.0%（102件）であった。



以上